

東海大学医学部付属病院では、  
受診時に患者さんから得られた試料や診療情報等を使用して  
下記の臨床研究を行っています。

下記臨床研究は「東海大学医学部 臨床研究審査委員会」にて病院長の承認を得て実施しています。  
当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化处理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

### 【研究課題名】

限局性前立腺癌に対する Focal therapy 後の性機能の経時的推移: 治療部位別の検討

### 【研究の目的】

下記の診療情報等を利用し、Focal therapy 後の性機能へ及ぼす影響について解明することを目的としています。

### 【研究の対象となる方】

2016年4月1日 から 2021年4月30日 までの間に、  
当院の泌尿器科で前立腺癌に対して、高密度焦点式超音波療法をもちいた Focal Therapy を受けられた方です。

### 【利用期間（研究実施期間）】

臨床研究審査委員会承認日 から 2022年3月31日 まで

### 【研究に用いる試料・診療情報等の項目】

- ・試料：血清 PSA (Prostate Specific Antigen) 値
- ・診療情報等：年齢、前立腺体積、T 分類、Gleason score、リスク分類、治療前および後 1, 3, 6, 9, 12 カ月後の IIEF-5 スコア(別紙参照)および EPIC の性機能ドメインスコア(別紙参照)、Focal therapy の治療時間、Focal therapy の使用エネルギー(高密度焦点式超音波療法を使用)、治療 2 週間後の造影 MRI 所見(射精管血流の有無、NVB に隣接する PZ の血流の有無)、治療パターン、治療領域

**【利益相反に関する事項】**

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

**【問い合わせ先】**

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：2340）

研究責任者 泌尿器科 小路 直

問い合わせ担当者 泌尿器科 小路 直